



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月13日

上場会社名 はごろもフーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2831 URL <https://www.hagoromofoods.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 佐恵子
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 経営企画本部長 (氏名) 川隅 義之 TEL 054-288-5200
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	54,507	3.6	△374	—	△109	—	△121	—
2022年3月期第3四半期	52,589	0.3	2,580	△22.0	2,852	△23.7	2,244	△19.0

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 402百万円 (△83.1%) 2022年3月期第3四半期 2,383百万円 (△25.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	△12.89	—
2022年3月期第3四半期	238.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	62,764	34,862	55.5	3,704.65
2022年3月期	61,231	34,930	57.0	3,711.85

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 34,862百万円 2022年3月期 34,930百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2023年3月期	—	25.00	—	—	—
2023年3月期 (予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	67,000	△2.1	△1,300	—	△1,000	—	△1,200	—	△127.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	10,325,365株	2022年3月期	10,325,365株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	914,804株	2022年3月期	914,754株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	9,410,606株	2022年3月期3Q	9,410,696株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があり、業績の進捗に応じ予想を修正することがあります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8
3. 2023年3月期第3四半期決算短信(連結)補足説明	9
(1) 売上高・利益の増減要因等	9
(2) 販売費及び一般管理費の内訳	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、コロナと共存する生活スタイルへの移行により経済社会活動の正常化が進み、個人消費も緩やかな持ち直しの動きも見られました。しかし長期化するウクライナ情勢等の影響による原材料やエネルギー価格の上昇や、世界的な金融引締め等に起因する為替相場の変動等により先行き不透明な状態が続きました。

食品業界においては、原材料やエネルギー価格の上昇による製品の価格改定が続き、お客様の節約志向が強まり消費が伸び悩む中で引き続き厳しい経営環境が続きました。

このような中、当社グループは、中期経営計画の優先課題である信頼感・安心感のある「はごろも」ブランドの確立に取り組み、消費者ニーズに応える健康志向や簡便性、利便性といった機能性を追求した製品の販売に注力しました。あわせて、販売促進活動の一つである「シーチキン食堂」のテレビコマーシャルと連携した「朝たん（＝朝にたんぱく質を摂る）」等のメニュー提案により、さらなる製品の需要喚起とブランド価値の訴求に努めました。一方で原材料価格の上昇にともない、ツナおよびパスタ製品等の価格改定を実施しました。

この結果、家庭用製品の販売は、健康志向や機能性を追求した製品がお客様に支持されたこと等により増加しました。業務用製品の販売は、引き続き各種給食やコンビニエンスストア向けの需要が回復したこと等により増加したため、当連結累計期間の売上高は545億7百万円（前年同期比3.6%増）となりました。

利益面では、原材料価格の高騰等により売上原価率が上昇し、さらに販売奨励金や物流費が増加したこと等から、営業損失は3億74百万円（前年同期は25億80百万円の営業利益）、海外関連会社の持分法による投資利益が減少したこと等により、経常損失は1億9百万円（前年同期は28億52百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億21百万円（前年同期は22億44百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

また、当社グループは、食品事業およびこの付帯事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の開示は行っていないですが、製品群別の販売動向は以下のとおりです。

表：製品群別売上高（連結）

（単位：千円、%）

製品群		前年同期		当第3四半期		増減		
		金額	構成比	金額	構成比	金額	率	
製品	家庭用食品	ツナ	23,985,660	45.6	24,975,936	45.8	990,276	4.1
		デザート	4,343,257	8.3	4,577,472	8.4	234,215	5.4
		パスタ&ソース	4,311,788	8.2	4,581,345	8.4	269,556	6.3
		総菜	5,140,198	9.8	5,009,793	9.2	△130,404	△2.5
		削りぶし・のり・ふりかけ類	2,546,777	4.8	2,494,960	4.6	△51,816	△2.0
		ギフト・その他食品	2,174,403	4.1	2,177,173	4.0	2,770	0.1
		計	42,502,085	80.8	43,816,683	80.4	1,314,597	3.1
	業務用食品	8,490,628	16.1	8,987,113	16.5	496,485	5.8	
	ペットフード・バイオ他	1,302,421	2.5	1,422,830	2.6	120,409	9.2	
	計	52,295,136	99.4	54,226,627	99.5	1,931,491	3.7	
その他	294,770	0.6	280,561	0.5	△14,208	△4.8		
合計	52,589,906	100.0	54,507,189	100.0	1,917,283	3.6		

「ツナ」では、主力の油漬缶詰がコロナ禍での需要拡大の一服と、価格改定による買い控え等の影響を受けましたが、高たんぱく・低脂質・低糖質という健康面を訴求した「オイル不使用シーチキン」シリーズや、開けやすく後片付けが簡単なパウチタイプの「シーチキンSmile」シリーズが好調で、売上高は前年同期比4.1%増加しました。

「デザート」では、コロナ禍でフルーツ製品の利便性があらためて支持され、中身が見えて扱いやすいフルーツパウチが好調で、売上高は同5.4%増加しました。

「パスタ&ソース」では、パスタはデュラム小麦粉の高騰等による価格改定を実施した中で、コロナ禍でパスタの利便性が認知されていること等により結束タイプのスパゲッティ「ポポロスパ」や、8月に新発売した強力粉とデュラムセモリナを配合しもちり食感を実現した「ポポロスパやんわか8分」が好調でした。ソースは8月に発売した「和える七香」シリーズが好調で、売上高は同6.3%増加しました。

「総菜」では、さば・さんま・いわし等の青魚パウチ製品が好調でしたが、価格改定を実施した「シャキッとコ

ーン」シリーズや料理素材が低調で、売上高は同2.5%減少しました。

「削りぶし・のり・ふりかけ類」では、ふりかけや味付けのり等は好調でしたが、削りぶしやきざみのりの販売が低調で、売上高は同2.0%減少しました。

「ギフト・その他食品」では、贈答品市場の回復が想定よりも進まずギフトが苦戦しましたが、電子レンジで簡単に調理可能な包装米飯「パパッとライス」が引き続き好調で、売上高は同0.1%増加しました。

「業務用食品」では、各種給食やコンビニエンスストア向けの需要が順調に回復したこと等により、売上高は同5.8%増加しました。

「ペットフード・バイオ他」では、引き続きペット市場の拡大により、新製品を投入した添加物不使用のペットフード「無一物」シリーズが好調で、売上高は同9.2%増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の内容

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末より15億32百万円増加して、627億64百万円となりました。これは主に、現金及び預金が25億99百万円減少したものの、商品及び製品が20億69百万円、投資有価証券が10億1百万円、建物及び構築物（純額）が5億41百万円、流動資産のその他が2億81百万円ならびに原材料及び貯蔵品が2億53百万円それぞれ増加したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末より16億円増加して、279億1百万円となりました。これは主に、未払金が27億22百万円、未払法人税等が4億55百万円、長期借入金が3億15百万円ならびに賞与引当金が2億14百万円それぞれ減少したものの、支払手形及び買掛金が29億84百万円、流動負債のその他が23億70百万円増加したことによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末より67百万円減少して、348億62百万円となりました。これは主に、為替換算調整勘定が4億17百万円、その他有価証券評価差額金が4億1百万円増加したものの、利益剰余金が5億91百万円、繰延ヘッジ損益が3億15百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の57.0%から55.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想については、2022年11月7日の発表から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,533,831	934,579
受取手形、売掛金及び契約資産	18,378,269	18,470,645
商品及び製品	9,006,839	11,076,283
仕掛品	65,707	46,319
原材料及び貯蔵品	2,449,198	2,702,540
その他	2,153,594	2,435,339
貸倒引当金	△2,738	—
流動資産合計	35,584,701	35,665,707
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,389,226	7,931,042
土地	3,487,847	3,543,228
その他(純額)	4,465,524	4,370,738
有形固定資産合計	15,342,598	15,845,009
無形固定資産		
投資その他の資産	409,223	400,928
投資有価証券	8,799,459	9,800,798
退職給付に係る資産	566,861	539,505
その他	531,970	516,126
貸倒引当金	△3,250	△3,613
投資その他の資産合計	9,895,041	10,852,817
固定資産合計	25,646,863	27,098,755
資産合計	61,231,564	62,764,463
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,568,861	15,553,653
1年内返済予定の長期借入金	482,688	482,688
未払金	5,646,898	2,924,417
未払法人税等	516,321	60,598
賞与引当金	396,438	181,617
その他	916,612	3,287,507
流動負債合計	20,527,820	22,490,483
固定負債		
長期借入金	3,198,853	2,883,337
役員退職慰労引当金	812,198	763,045
退職給付に係る負債	12,502	11,219
その他	1,749,399	1,753,509
固定負債合計	5,772,953	5,411,111
負債合計	26,300,774	27,901,594

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,669	1,441,669
資本剰余金	942,527	942,527
利益剰余金	30,630,426	30,038,609
自己株式	△2,163,143	△2,163,292
株主資本合計	30,851,480	30,259,514
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,820,843	4,222,118
繰延ヘッジ損益	188,406	△126,633
為替換算調整勘定	△43,492	373,805
退職給付に係る調整累計額	113,551	134,062
その他の包括利益累計額合計	4,079,309	4,603,354
純資産合計	34,930,790	34,862,868
負債純資産合計	61,231,564	62,764,463

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	52,589,906	54,507,189
売上原価	40,153,614	45,161,521
売上総利益	12,436,292	9,345,667
販売費及び一般管理費	9,855,416	9,719,736
営業利益又は営業損失(△)	2,580,876	△374,069
営業外収益		
受取利息	13	15
受取配当金	188,697	222,276
持分法による投資利益	16,481	—
仕入割引	30,632	30,393
賃貸料収入	51,888	49,919
その他	30,133	38,121
営業外収益合計	317,846	340,726
営業外費用		
支払利息	10,460	9,738
賃貸収入原価	26,841	20,595
持分法による投資損失	—	10,758
その他	8,880	34,701
営業外費用合計	46,182	75,794
経常利益又は経常損失(△)	2,852,540	△109,137
特別利益		
固定資産売却益	6,241	3,419
補助金収入	349,041	—
受取補償金	67,164	—
特別利益合計	422,447	3,419
特別損失		
貸倒引当金繰入額	54	363
固定資産除却損	6,913	3,747
固定資産売却損	—	16,074
投資有価証券評価損	1,867	—
特別損失合計	8,835	20,185
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,266,151	△125,902
法人税等	1,021,869	△4,616
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,244,282	△121,286
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	2,244,282	△121,286

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,244,282	△121,286
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	68,667	401,275
繰延ヘッジ損益	△68,891	△315,039
退職給付に係る調整額	3,837	△1,532
持分法適用会社に対する持分相当額	135,518	439,341
その他の包括利益合計	139,130	524,044
四半期包括利益	2,383,413	402,757
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,383,413	402,757
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益または税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しています。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しています。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の決算短信の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症に関する会計上の見積り)の記載から重要な変更はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、食品事業およびこの付帯事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

3. 2023年3月期第3四半期決算短信(連結) 補足説明

(1) 売上高・利益の増減要因等

(単位: 百万円、%)

	前年同期		当第3四半期		前年同期比		前年同期比増減要因等
	金額	率	金額	率	金額	率	
売上高	100.0 52,589		100.0 54,507		1,917	103.6	販売函数 製品群別売上高 ・ツナ + 990百万円 + 4.1% ・デザート + 234 + 5.4 ・パスタ&ソース + 269 + 6.3 ・総菜 △ 130 △ 2.5 ・削りぶし・ のり・ふりかけ類 △ 51 △ 2.0 ・業務用食品 + 496 + 5.8
売上原価	76.4 40,153		82.9 45,161		5,007	112.5	・売上原価率 + 6.5ポイント
売上総利益	23.6 12,436		17.1 9,345		△3,090	75.1	
販売費及び一般管理費	18.7 9,855		17.8 9,719		△135	98.6	・販売奨励金 + 79百万円 + 4.5% ・広告宣伝費 △ 285 △25.1 ・荷造運賃・保管料 + 73 + 2.7
営業利益	4.9 2,580		△0.7 △374		△2,954	—	
営業外損益	0.5 271		0.5 264		△6	97.5	・持分法による投資損益 △ 27百万円 ・受取配当金 + 33
経常利益	5.4 2,852		△0.2 △109		△2,961	—	
特別損益	0.8 413		△0.0 △16		△430	—	前期・補助金収入 349百万円計上
税金等調整前四半期純利益	6.2 3,266		△0.2 △125		△3,392	—	
法人税等	1.9 1,021		△0.0 △4		△1,026	—	
親会社株主に帰属する四半期純利益	4.3 2,244		△0.2 △121		△2,365	—	

設備投資額	1,731	1,817	85	105.0	無形固定資産含む
減価償却費	1,270	1,280	9	100.8	無形固定資産分含む

(2) 販売費及び一般管理費の内訳

(単位: 百万円、%)

	前年同期	当第3四半期	増減額	前年同期比
販売奨励金	1,744	1,823	79	104.5
広告宣伝費	1,136	851	△285	74.9
荷造運賃・保管料	2,693	2,766	73	102.7
給料・賞与(引当金繰入額含む)	1,534	1,497	△37	97.6
退職給付費用	109	109	0	100.8
研究開発費	191	195	3	101.9
その他	2,446	2,476	29	101.2
合計	9,855	9,719	△135	98.6